

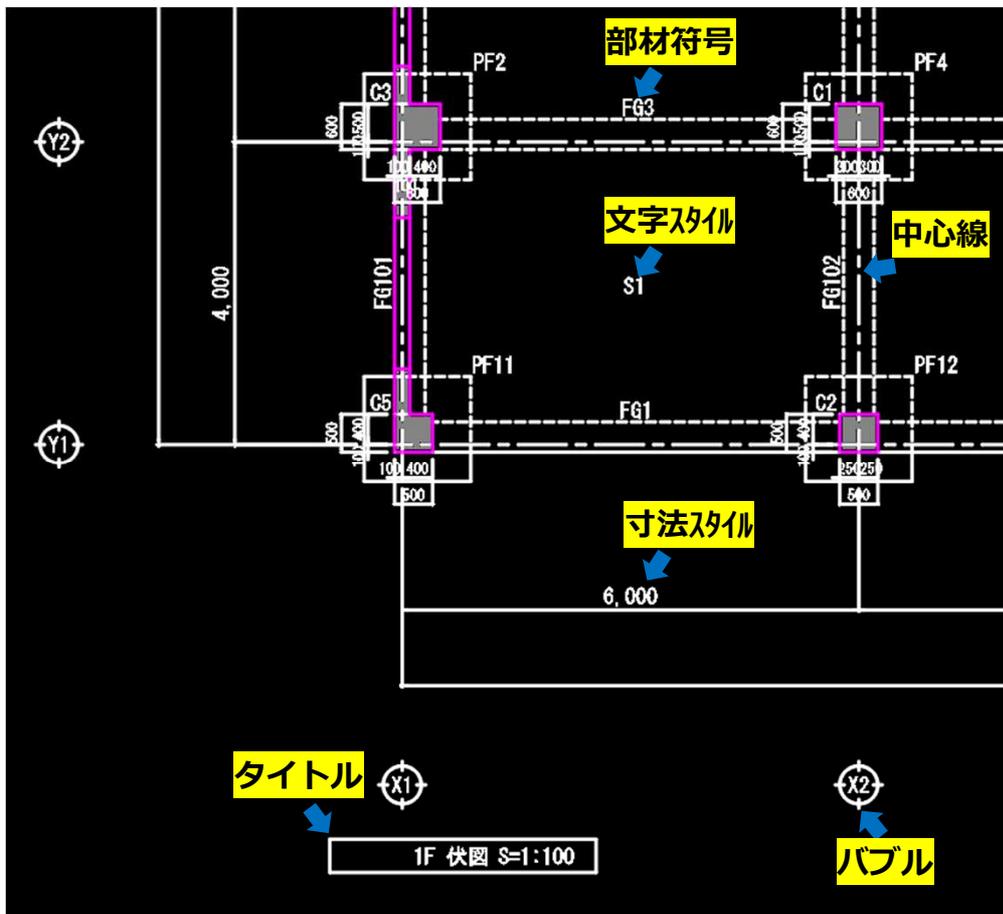


## 01\_ユーザースタイル

Drawingではオプションテンプレートの線種や色をカスタマイズすることが可能です。  
 この「01\_ユーザースタイル」は、あるユーザー様の図面スタイルに近づけて自動生成するようにカスタマイズしてあります。  
 オプションテンプレートを含むサンプルファイルをファイルダウンロードからダウンロードして、各場所へ設置してください。

### | 生成例

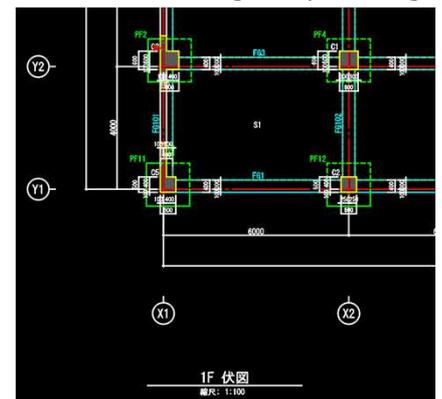
■ 伏図



主な変更場所		midasスタイル	01_ユーザースタイル
文字スタイル	文字フォント	MSゴシック	<b>MSゴシック</b>
	部材符号	2mm	<b>2.2mm</b>
	タイトル	3.5mm	<b>2.2mm</b>
	バブル	3mm	<b>2.2mm</b>
寸法スタイル	寸法値	MSゴシック	<b>MSゴシック</b>
画層名	中心線	G-AXIS-CEN	<b>S11-通芯</b>
	部材符号	部材により異なる	<b>S13-文字1</b>
	タイトル	G-VIEW TITLE-SYM	<b>S13-文字1</b>
	バブル	G-AXIS BUBBLE-SYM	<b>S13-文字1</b>

■ midasスタイル

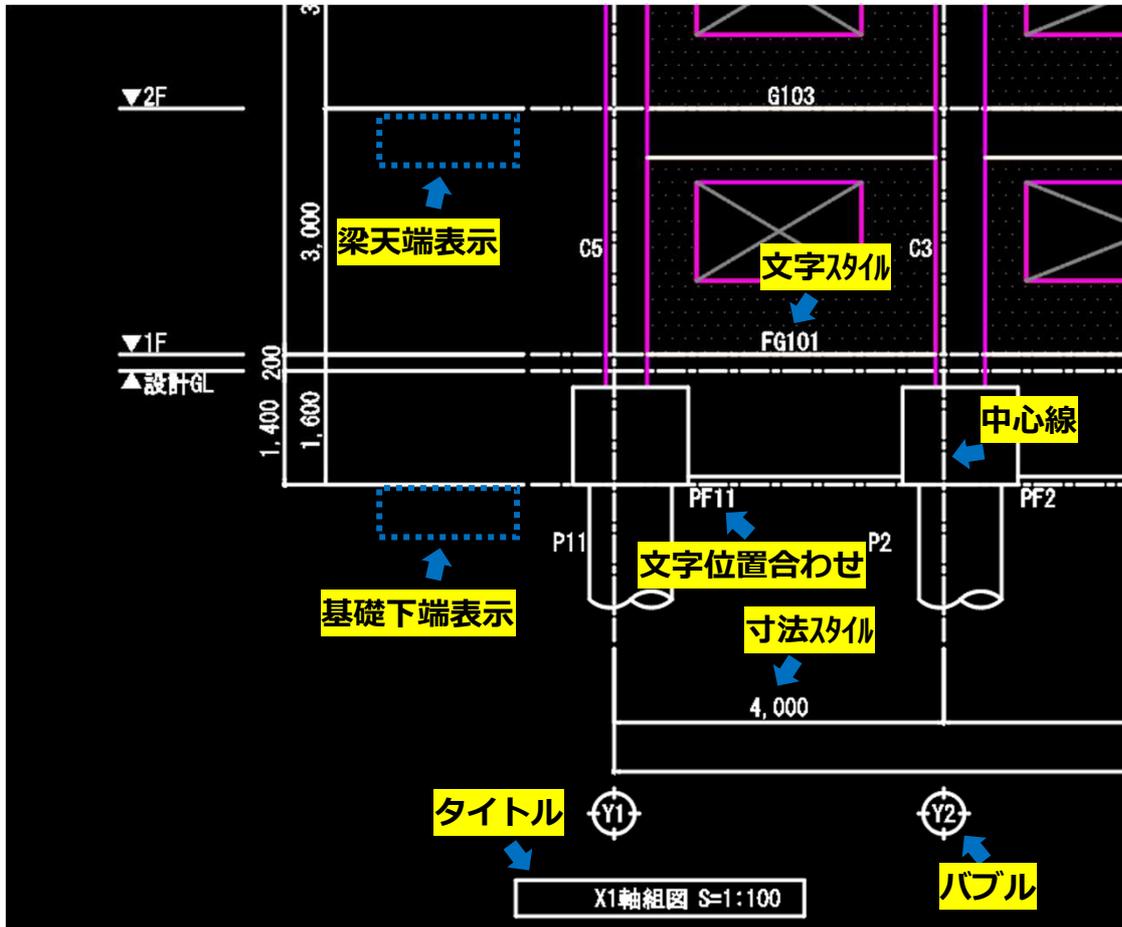
Standard Drawing Template.dwg





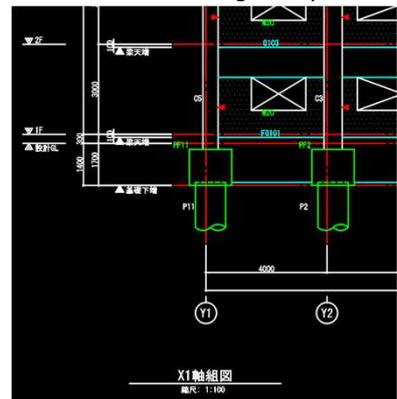
# 01\_ユーザースタイル

## ■ 軸組図



主な変更場所		midasスタイル	01_ユーザースタイル
梁天端・基礎下端表示		表示する	表示しない
基礎の文字位置合わせ		左上	右下
文字スタイル	文字フォント	MSゴシック	MSゴシック
文字高さ	部材符号	2mm	2.2mm
	タイトル	3.5mm	2.2mm
	バブル	3mm	2.2mm
寸法スタイル	寸法値	MSゴシック	MSゴシック
画層名	中心線	G-AXIS-CEN	S11-通芯
	部材符号	部材により異なる	S13-文字1
	タイトル	G-VIEW TITLE-SYM	S13-文字1
	バブル	G-AXIS BUBBLE-SYM	S13-文字1

## ■ midasスタイル Standard Drawing Template.dwg





## 01\_ユーザースタイル

### 1 ファイルの設置

プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。  
 サンプルファイルをダウンロードし、Drawingを閉じた状態で、各ファイルの設置を行ってください。

#### ① サンプルファイルをダウンロード

ページ右下の「ファイルダウンロード」をクリックし、 任意の位置にダウンロード



↓ ファイルダウンロード

#### ② 圧縮ファイルを展開(解凍)

圧縮(ZIP形式)ファイルを展開(解凍)

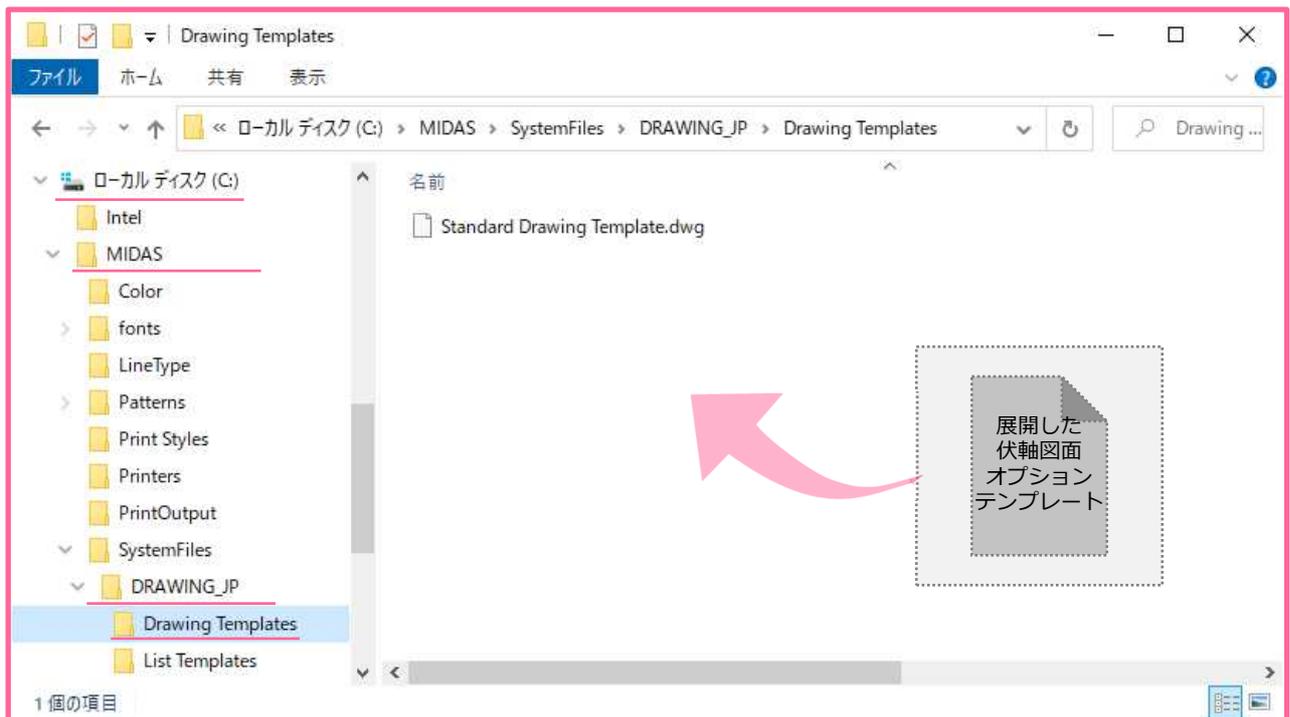
※サンプルファイルには、下記ファイルが入っています。

- ・ 伏軸図面オプションテンプレート : 01\_UserStyle-Standard\_V231R9.dwg
- ・ サンプル図面 : 01\_ユーザースタイル-サンプル図面[1階伏図,Y1軸組図].pdf
- ・ 生成例と使用方法 : 01\_ユーザースタイル-生成例と使用方法[伏軸図面用].pdf

#### ③ 伏軸図面オプションテンプレートの設置

展開したオプションテンプレートファイルを下記フォルダに設置

設置場所 : C:¥MIDAS¥SystemFiles¥DRAWING\_JP¥Drawing Templates  
 オプションテンプレート : 01\_UserStyle-Standard\_V231R9.dwg





## 01\_ユーザースタイル

### |現在のテンプレートに設定

設置したオプションテンプレートを使用するには、図面生成前にそのテンプレートを「現在のテンプレートに指定」する必要があります。

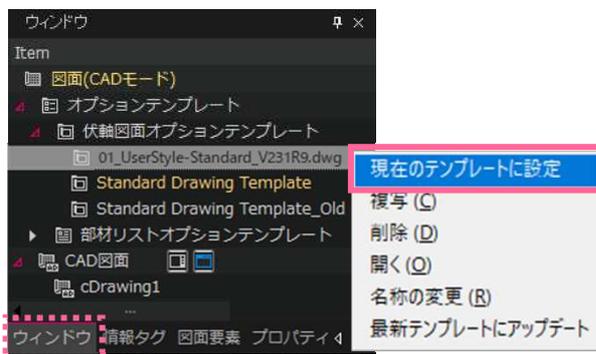
#### ①Drawingを立ち上げる

※プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。



#### ②現在のテンプレートに設定

※ツリーメニュー > ウィンドウ > 伏軸図面オプションテンプレート > 設定するテンプレート上で右クリック > 「現在のテンプレートに設定」クリック





## 01\_ユーザースタイル

### 「01\_ユーザースタイル」で図面生成

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートでは設定できない、図面の表現方法を設定します。ここでは、01\_ユーザースタイルに近づけて生成するための設定方法を紹介します。

先に図面生成の流れを説明した後に、構造図面生成マネージャーの設定方法とレイアウト調整を紹介します。

#### ① eGenファイルを開く

構造図面生成マネージャーを使用するには、eGenファイルをDrawingに読み込む必要があります。

[メニュー]> [図面生成]> [eGenファイルを開く]をクリック

#### ② 構造図面生成マネージャーを設定

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートで設定できない、図の表現方法を設定します。一般階と屋根ではブレースの表現方法が異なったり、伏図と軸組図では切断面の区分表現が異なります。その場合、図面ごとに構造図面生成マネージャーの設定を変更して、一枚一枚生成することも必要です。

[メニュー]> [図面生成]> [構造図面生成マネージャー]をクリック



※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 > 7.オプション設定-構造図面生成マネージャー  
軸組図の生成 > 7.オプション設定-構造図面生成マネージャー

#### ③ 図面生成

[メニュー]> [図面生成]> [伏図を生成]をクリック

[軸組図を生成]をクリック

※構造図面の自動生成について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 伏図の生成 または 軸組図の生成